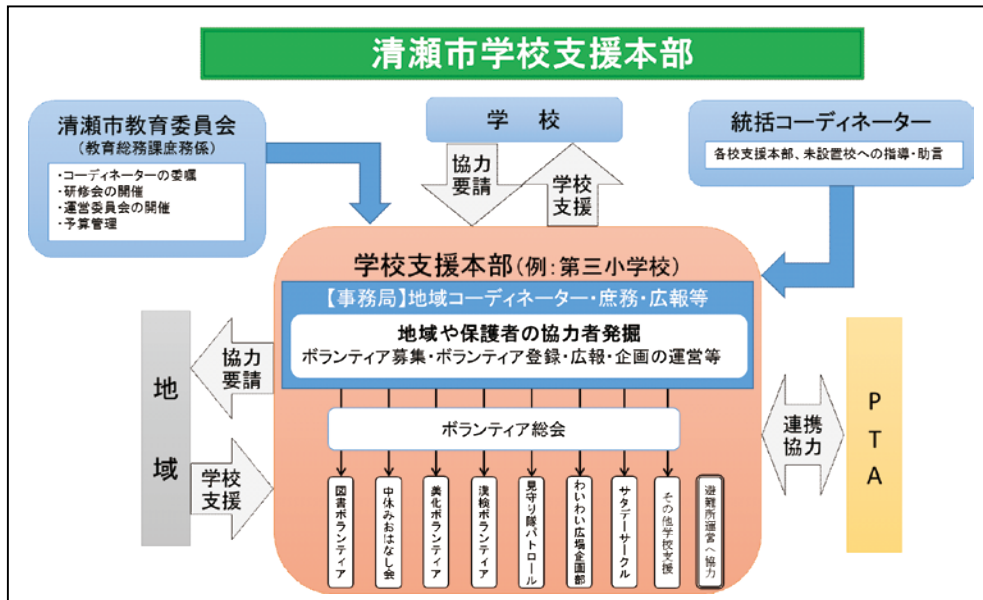


◆事業方針（計画等における位置付け）

本市の最上位計画である「第4次清瀬市長期総合計画・実行計画」及び清瀬市の教育の指針を示した「第2次清瀬市教育総合計画マスタープラン・実行計画」において、地域連携による学校教育を推進するための重要施策として位置付けている。

◆地域学校協働活動（学校支援本部）の実施体制



◆広報活動

教育委員会だよりにおいて、学校支援本部について紹介。全戸配布の広報誌を通して、広報活動を実施した。

◆コーディネーターの育成・交流の機会提供や学校に対する事業理解促進

平成29年5月15日に全国体験活動ボランティア活動総合推進センターの協力の下に、外部講師を招き、研修会を開催した。各小中学校長、副校長、コーディネーター、PTA役員等、合計28名が参加し、「地域連携担当職員・地域コーディネーターの役割と心得」について学んだ。支援だけでなく、連携・協働が重要であることを理解できた、などの感想があった。

◆成果・課題・展望

当市の学校支援本部のひな型を作っている三小学校支援本部では、授業への支援、サマースクールの開催、地域住民との交流集会の企画など、様々な取り組みを行っており、地域住民や外部関係者との連携・協働が図れたことで、児童が豊かな体験学習に取り組むことができています。

また、地域の方々からも児童に気軽に声を掛けていただくことで、安心して地域で生活することができ、防犯上や健全育成の観点からも効果が認められている。

今後、学校や地域の方に学校支援本部の役割を理解していただくとともに、全校展開を進める上で課題であるコーディネーターの発掘及び育成を図り、地域の力を学校に生かす仕組みづくりの推進を進めていく。